



◆りんご研究所参観デー

黒石市◆

9月9日(水)に開催し、生産者をはじめとした約800名の方々が訪れました。今年度は新庁舎改築工事の期間中のため、規模を縮小し



の開催となりましたが、天候に恵まれたこともあり、例年以上の盛り上がりを感じられました。

りんご講演会では、各研究員が「高密度栽培の耐雪性」、「最近話題の品種」、「根頭がんしゅ病の防除法」について講演し、立ち見が出るほどの満席となった会場からは、活発な質問や意見が飛び交っていました。

講演会に引き続き行われた圃場見学ツアーでは、高密度・半密植栽培園の紹介のほか、自動走行スピードスプレーヤーや可動式遮光ネットの操作実演が行われ、最新技術に感心の声が上がっていました。



また、研究成果のポスター展示、栽培相談コーナー、育成品種「紅はつみ」の試食販売のほか、50を超える出展業者による農業機械、農業資材、地域物産の展示販売など、多彩な催事内容により、来場された皆さまには御満足いただくことができました。

◆りんご研究所参観デー

五戸町◆

9月11日(金)に開催し、当日は午前を通り雨があったものの天

気の大きな崩れはなく、来場者は約400名でした。主な催事内容について御紹介します。

果樹栽培

無料相談所では、りんご研究所各部の研究員が、リンゴの病害、ブドウの栽培方法や品種鑑定、モモの病害、ブルーベリーの品種選



果樹ミニ講座

座は「モモ栽培の現状と研究の取り組み」と「ブドウ栽培の基礎理論」の2課題を講演し、どちらも好評でした。特にブドウの講座には70名近くが参加し、研修館が来場者でいっぱいになるほどでした。



研究成果等の資料展示では、研修館と圃場にポスターを設置し、今年の気象や果樹の生育経

過、品種特性や栽培技術について展示しました。また、ブドウ、ナシ、モモを中心に、主要な品種の果実の実物展示も行いました。

クイズラリーでは、果物にまつわるクイズを5つ、圃場の順路に沿って配置し、ラリーに挑戦していただきました。問題が少し難しいとの声もありましたが、答え合わせをした来場者には県南果樹部産の果物(リンゴ、ナシ)を進呈し、大変喜んでいただきました。

このほか、農業資材や地域農産物の展示販売も行われました。地元のプロducer団体が販売するブドウやナシは好評で、テントの前はとても賑わっていました。

◆編集後記◆

今号では、黒石市と五戸町で開催した参観デーの様子をお届けしました。規模縮小や天候の不安もありましたが、両会場で立ち見が出るほどの盛況となり、果樹栽培への強い情熱を肌で感じました。最新技術の実演やクイズなど、皆様にとって有意義な時間をお過ごしいただけたなら幸いです。たくさんの方の御来場、誠にありがとうございました。